

## <定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※◎:警報レベル

○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第37週	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	第37週	第38週	増減	
<b>インフルエンザ定点</b> (定点医療機関数)		(47)			(19)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	1081 0.22																11418
<b>小児科定点</b> (定点医療機関数)		(29)			(12)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	10500 3.34	180 6.00	148 5.10	▼	98 7.54	98 8.17	△	2 0.67	1 0.33	▼	67 11.17	30 5.00	▼	13 1.63	19 2.38	▲	1288
咽頭結膜熱	1455 0.46	25 0.83	20 0.69	▼	18 1.38	14 1.17	▽				4 0.67	4 0.67		3 0.38	2 0.25	▼	713
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4847 1.54	65 2.17	68 2.34	△	28 2.15	19 1.58	▼	2 0.67	3 1.00	△	28 4.67	30 5.00	△	7 0.88	16 2.00	▲	5360
感染性胃腸炎	10355 3.29	60 2.00	42 1.45	▼	25 1.92	17 1.42	▼	5 1.67	1 0.33	▽	18 3.00	15 2.50	▼	12 1.50	9 1.13	▼	5654
水痘	622 0.20	7 0.23	10 0.34	▲		5 0.42	△	1 0.33	1 0.33		3 0.50	3 0.50		3 0.38	1 0.13	▽	465
手足口病	12198 3.88	181 ◎2.03	129 ◎4.45	▼	31 ◎2.38	27 ◎2.25	▼	38 ◎12.67	14 ◎4.67	▽	56 ◎9.33	43 ◎7.17	▼	56 ◎7.00	45 ◎5.63	▼	2951
伝染性紅斑	201 0.06	13 0.43	17 0.59	△	4 0.31	2 0.17	▽		2 0.67	△	8 ◎1.33	13 ◎2.17	△	1 0.13		▽	553
突発性発しん	1409 0.45	14 0.47	13 0.45	▼	6 0.46	3 0.25	▽		1 0.33	△	5 0.83	4 0.67	▽	3 0.38	5 0.63	△	712
百日咳	30 0.01	1 0.03		▽	1 0.08		▽										23
ヘルパンギーナ	3048 0.97	61 ◎2.03	23 0.79	▼	19 1.46	3 0.25	▽	5 1.67	1 0.33	▽	21 ◎3.50	16 ◎2.67	▼	16 ◎2.00	3 0.38	▼	1157
流行性耳下腺炎	1227 0.39	4 0.13	15 0.52	△	2 0.15	3 0.25	△				2 0.33	11 1.83	△		1 0.13	△	527
<b>眼科定点</b> (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	5 0.01																
流行性角結膜炎	691 1.00	10 1.25	14 1.75	△	9 2.25	11 2.75	△		2 2.00	△				1 0.50	1 0.50		107
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	5 0.01																78
クラミジア肺炎	5 0.01																
マイコプラズマ肺炎	151 0.32	6 0.60	3 0.30	▼	4 1.00	1 0.25	▽		1 1.00	△	1 0.50		▽	1 0.33	1 0.33		161
細菌性髄膜炎	9 0.02																2
無菌性髄膜炎	26 0.05		1 0.10	△											1 0.33	△	8

## <全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	1		1		
	無症状病原体保有者				2	※内、第36週追加報告分1件。
腸管出血性大腸菌感染症	患者	1		1		型別:O121 VT2 1件、O157 VT1VT2 1件。
	無症状病原体保有者	1		1		※内、第36週追加分1件。 型別:O111 VT1 1件、O121 VT2 1件。
つつが虫病	患者		1			

## <通信欄>

※第38週は、定点医療機関の休診に伴い、インフルエンザ定点:48→47、小児科定点:30→29になっています。

※トピックスで、つつが虫病、腸管出血性大腸菌感染症、手足口病について掲載しています。

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

＜定点把握感染症 報告患者数 年齢別＞

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ															
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	8	27	60	31	15	4	2	1							148
咽頭結膜熱		1	8	4	3	1	2	1							20
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	3	3	6	4	10	10	5	7	7	8			68
感染性胃腸炎	1	7	4	7	5	4	4	1	4	1	2	6			42
水痘		3	1			1	1	3		1					10
手足口病	1	6	40	24	22	5	9	5	4	4	1	6		2	129
伝染性紅斑					2	7	3	1	2				2		17
突発性発しん	1	2	9	1											13
百日咳															
ヘルパンギーナ		2	5	5	6	1		3				1			23
流行性耳下腺炎						5		3	3	1	1	2			15

＜平成29年8月 月報＞

2017年9月20日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～8月	
	7月	8月	7月	8月	7月	8月	7月	8月	7月	8月		
<b>STD定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	20	24	9	9	7	10	1	1	3	4	150
	定点当り	2.00	2.40	2.25	2.25	7.00	10.00	0.50	0.50	1.00	1.33	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	2	5	2	2				1		2	49
	定点当り	0.20	0.50	0.50	0.50				0.50		0.67	
尖圭コンジローマ	報告数	3	4	2	2					1	2	14
	定点当り	0.30	0.40	0.50	0.50					0.33	0.67	
淋菌感染症	報告数	5	3	1	1					4	2	30
	定点当り	0.50	0.30	0.25	0.25					1.33	0.67	
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	5	7	1	1		1			4	5	53
	定点当り	0.50	0.70	0.25	0.25		1.00			1.33	1.67	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	23	21	14	11	2	1	2		5	9	165
	定点当り	2.30	2.10	3.50	2.75	2.00	1.00	1.00		1.67	3.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数											2
	定点当り											

＜トピックス＞

【つつが虫病情報】

第38週に、最上地区から、つつが虫の患者が1名報告されました。

つつが虫病とは

ツツガムシ(ダニの一種)の幼虫に刺されて、高熱や発疹などの症状が出る病気です。季節的には春から初夏にかけて多く発生し、秋にも発生がみられます。

【症状】

発熱(38～40℃)、発疹、ツツガムシ幼虫の刺し口が見られることが特徴です。これらの症状は、ツツガムシ幼虫に刺されてから5～14日後にみられます。

【予防法】

- ツツガムシは、田畑、山林、やぶ、河川敷、草原などに生息しています。これらの場所に立ち入るときは、次のようなことを心がけることが大切です。
- ①長袖、長ズボン、長靴、手袋などを着用し、素肌をできるだけ露出しない。
- ②ダニ忌避剤、防虫剤を衣服に散布する。
- ③なるべく草むらに直接座らない。
- ④帰宅したら早めに入浴し、ツツガムシ幼虫を洗い流す。

ツツガムシの居そうな場所に立ち寄った5～14日後に発熱した場合、まず、つつが虫を疑うことが大切です。早期に医療機関を受診し、適切な治療を受けましょう。



ヒゲツツガムシの幼虫 (撮影:衛生研究所)

※つつが虫病についてのパンフレットはこちらからダウンロードできます。

<http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/> (衛生研究所HP)

【腸管出血性大腸菌感染症情報】

第38週に、腸管出血性大腸菌感染症の患者が2名、無症状病原体保有者が1名報告されています。

1.感染者の内訳 (平成29年第1週からの合計)

①地区別

村山地区：20名

最上地区：2名

置賜地区：28名

庄内地区：4名

計 54名

②型別

O血清型	ベロ毒素型	報告数
O26	VT1	17
O55	VT1	2
O103	VT1	5
O111	VT1	1
O115	VT2	1
O121	VT2	4
O145	VT2	2
O157	VT2	12
	VT1VT2	9
OUT	VT2	1
合計		54

【手足口病情報】

手足口病の定点あたり報告数が、県内4地区全てにおいて警報レベルとなっています。

・手足口病：警報開始基準値：5人 警報終息基準値：2人

・第38週 定点あたり報告数 (山形県：4.5人)

村山地区 2.3人、最上地区 4.7人、置賜地区 7.2人、庄内地区 5.6人

1. ウイルス分離・検出状況 :山形県衛生研究所(9月20日現在)

2017年に入って、山形県内の手足口病の患者から、コクサッキーウイルスA6が48件、エンテロ71が1件検出されています。

2. 流行期の定点あたり報告数の推移(山形県)

